

説明会概要書

件名	砂押川外2河川災害復旧事業地元説明会
日時	平成24年10月3日（水） 18:30~20:00
説明場所	多賀城市大代公民館
出席者	大代東・南地区住民、宮城県河川課、仙台土木事務所、多賀城市
説明概要	<p>1 説明会の目的 砂押川外2河川の災害復旧事業の概要を地元に対して説明を行ったもの。</p> <p>2 説明内容</p> <p>①堤防高さの説明 河口から第一橋（念仏橋、貞園橋）までTP+5.00mで整備します。 第一橋より上流部分はTP+2.69mで整備します。</p> <p>②河川の線形について 堤防が高くなる分、堤防幅が両側に広がるか、川側に前出しする形で整備します。 ただ、電力鉄塔の移設が出来ないところについては、河川を振る形で整備します。</p> <p>③堤防の構造について 基本的には2割勾配の土堤構造にコンクリート被覆した形となり、前面に鋼矢板を入れて、その前に捨石を置く形で整備します。</p> <p>④工程の説明 平成24年度中に、断面検討及び関係機関との計画調整、用地測量、境界立会、買収を予定しています。 平成25年度より3年間の予定で工事を行う予定であります。</p> <p>⑤用地関連についての説明 平成24年度中に用地測量を行います。その後、用地買収または境界立会のご協力をお願いします。</p> <p>3 主な質疑応答</p> <ul style="list-style-type: none">・住宅地付近の堤防構造について詳しく説明して下さい。 →基本的には2割勾配の土堤構造にコンクリート被覆と1mのパラペット構造となります。行事等で河川の水際まで近寄る場合がありますので、階段で乗り越し出来るよう検討しています。・今回の堤防の計画は、何年に一度のものに対する計画か。 →今回は雨量計算のような50年確率から検討したものではなく、津波シュミレーションで行ったものであるため、10年から数十年に1度来る津波に対して検討しています。・橋本橋等の掛け替えの計画 →仙流橋以外の掛け替えの計画はありません。 →橋本橋の高さは低く見えますが、計画する堤防高さTP+2.69mと同じ高さです。・堤防は作り替えるのに、川の中はきれいにしないのか。 →浚渫工事を計画しています。 <p>4 土木事務所配付資料（抜粋） 配付資料なし</p>